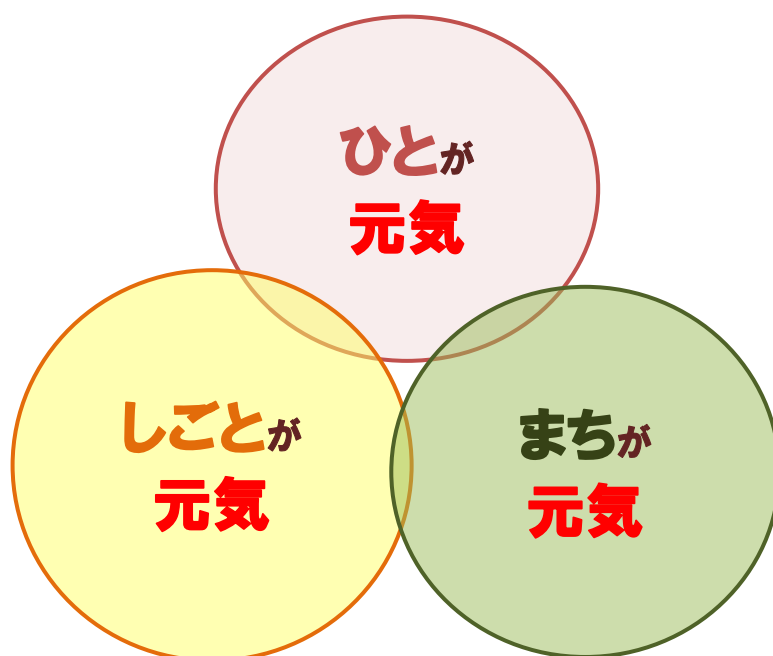


(令和5年度)

小千谷市総合戦略(改訂版)

進行管理シート



目 次

基本目標		基本方針		施 策		シートNo.		
1	しごとをつくり、安心して働けるようにする（しごとづくり）	i	人材育成、技術能力向上支援	1	キャリア教育の推進	01		
				2	技術承継・人材育成	02		
		ii	農業と錦鯉産業の成長産業化	1	6次産業化、新規就農支援	03		
				2	農産物等の付加価値産品開発、販路拡大	04		
				3	スマート農業普及推進	05		
		iii	地場産業拡充、企業立地、創業支援の推進	1	新技術・新製品開発	06		
				2	企業立地促進	07		
				3	新規創業・第二創業	08		
				4	国内・海外販路拡大	09		
		iv	高齢者・障がい者の活躍できる機会の拡充	1	技術力確保と生きがい雇用促進	10		
				2	障がい者の就労促進	11		
2	新しいひとの流れをつくる（ひとの流れ）	i	若年層の交流・転入促進	1	U・Iターンの推進	12		
				2	若い世代の定住促進	13		
				3	若者交流の推進	14		
		ii	移住・定住支援	1	小千谷の暮らし情報発信	15		
				2	交流・お試し移住推進	16		
				3	移住・定住支援	17		
		iii	地域資源（特産品、史跡、風景、文化）の活用及び連携	1	小千谷ブランドの形成	18		
				2	観光拠点づくりと外国人の観光誘客	19		
				3	交流・協働ネットワークの形成	20		
		iv	関係人口の創出・拡大による地域情報発信と交流促進	1	関係人口の創出・拡大	21		
				2	本市出身者や交流自治体等在住者との交流促進	22		
		3	結婚・出産・子育ての希望をかなえる（結婚・出産・子育て）	i	未婚化・晩婚化対策	1	婚活事業の推進	23
ii	安心できる出産・子育て環境の充実			1	妊娠・出産期の健康支援	24		
				2	保育環境の充実	25		
				3	子どもの遊び場の整備	26		
iii	教育環境の充実			1	学びの環境づくり	27		
4	時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域が連携する（まちづくり）			i	にぎわいのまちの顔づくり	1	都市計画の推進	28
						2	中心市街地の整備推進	29
		3	交流・協働ネットワークの形成（再掲）			20		
		ii	ひとにやさしい交通網の整備	1	地域公共交通体系の整備	30		
		iii	安心の雪国生活支援	1	優良宅地供給の推進	31		
				2	冬期間交通の確保	32		
3	高齢化に適応した屋根雪処理等の推進			33				

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画(Plan)

シートNo.	01
戦略ページ	P.33

(1) 基本的事項

区分	No.	名称
基本目標	1	しごとをつくり、安心して働けるようにする（しごとづくり）
基本方針	1	人材育成、技術能力向上支援
施策項目	1	キャリア教育の推進

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	児童・生徒が小千谷の産業を知り、触れ、体感する機会を提供し、若者の地元就職体制を確保するとともに雇用環境の向上を図る。
事業概要	<p>■市内中学生の職場体験教育（教育・保育課） 市内中学生が小千谷の産業を知るための職場体験を実施する。</p> <p>■インターンシップの実施拡充（商工振興課） 大学生、専門学校生、高校生等のインターンシップ活動の拡充を図る。</p> <p>■地元就職サポート事業【デジタル田園都市国家構想交付金】（企画政策課） 市内中学生を対象に、産業界や高等学校と連携し、ふるさと小千谷を支える地域産業や企業を理解する機会として「おちやしごと未来塾」を開催し、将来の地元就職につなげる。</p>

■ 実施(Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	事業費 (千円)	R6年度 (目標値)	担当課
職場体験実施日数（中学生）/生徒1人	3日	0日	3日	3日	3日	-	3日以上	教育
インターンシップ実施支援件数/年	48件	17件	31件	34件	78件	-	50件	商工
市内高校卒業生のうち市内事業所への就職率	40.4%	42.4%	46.5%	20.5%	36.5%	-	44.0%	商工
小千谷未来パスポート普及率【デジタル田園都市国家構想交付金】	-	17.8%	34.1%	36.1%	-	-	-	商工

■ 評価(Check)

【教育・保育課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
各企業の理解を得て職場体験を実施した。仕事内容の理解や仕事に臨む姿勢、社会人として必要な資質等を中学生に肌で感じてもらうことができた。	3日間の職場体験を実施することに意義を見出している。受入先企業が減少していることが課題である。	3日間の職場体験を実施する。また、受入先企業を増やすため、職場体験の意義を企業等に丁寧に説明する。

【商工振興課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<p>【インターンシップ支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内企業への受入調査 (159社) ・市内企業のインターンシップ受入情報の提供 (市内中学5校、市内高校2校) ・大学生等へのインターンシップ受入仲介 (11名) <p>【就職情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業ガイドブック配布 ・就職支援サイトリニューアル ・就職支援SNSアカウント運営 (インスタグラム)、開設 (YouTube、TikTok) 	<p>インターンシップの支援件数については、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、受入可能企業が増加したため、仲介実績が向上した。</p> <p>インターンシップ支援実績 (R3年度:31件、R4年度:34件、R5年度:78件)</p> <p>市内高等学校卒業生における地元企業就職率 (R3年度:46.5%、R4年度:20.5%、R5年度:36.5%)</p>	<p>生徒や学生に市内企業を広く知ってもらうため、引き続き企業ガイドブックや就職支援サイト、就職支援SNSを活用し、キャリア教育の推進を図る。</p> <p>また、企業見学やインターンシップの仲介を進める。</p> <p>なお、重要業績評価指標 (KPI) の「小千谷未来パスポート普及率【デジタル田園都市国家構想交付金】」は、R4年度をもって実績評価基準である就労アプリの運用を終了したため、R6年度、新たなKPIを検討する。</p>
【企画政策課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・市内中学校1、2年生、総合支援学校中学部生及び市内高校生を対象に企業ブース見学を実施し、地元企業について学んだ。 ・企業ブースには市内企業44社が出展した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業ブースを見学した中学生の98%が、事業に参加したことで小千谷市の企業を「よく理解できた」「理解できた」とアンケートで評価している。 ・一方で、1ブース当たりの見学時間が短いという声が生徒と企業双方から聞かれたため、時間配分等の見直しを行う必要がある。 	<p>アンケート結果を反映し、事業満足度の向上を図りながら、キャリア教育機会の提供によって地元就職に結び付くように引き続き事業を推進する。また、市内企業をより深く知ることができるように時間配分等の見直しを行う。</p>

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画(Plan)

シートNo.	02
戦略ページ	P.33

(1) 基本的事項

区分	No.	名称
基本目標	1	しごとをつくり、安心して働けるようにする（しごとづくり）
基本方針	1	人材育成、技術能力向上支援
施策項目	2	技術承継・人材育成

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	若者の地元就業体制を確保するとともに、就業後の技能取得支援による雇用環境の向上を目指す。
事業概要	<p>■ものづくり技術者育成支援事業（テクノ小千谷名匠塾支援） 地域産業の強みである技術力の伝承・継承により、生産活動の維持・拡充と技術力を持った人材の育成を目指す。 基幹産業である鉄工・電子などの技術者養成のため、テクノ名匠塾受講者による技能士試験へのチャレンジを支援する。</p>

■ 実施(Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	事業費 (千円)	R6年度 (目標値)	担当課
鉄工電子組合技能士合格者数（累計）	163人	176人	196人	206人	214人	840	220人	商工

■ 評価(Check)

【商工振興課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・テクノ小千谷名匠塾の運営団体である「小千谷鉄工電子協同組合」へ補助金（840,000円）を交付した。 ・補助金を活用して、基幹産業である鉄工電子などの技術者養成のため、テクノ小千谷名匠塾受講者による技能士試験へのチャレンジを支援した。 	<p>テクノ小千谷名匠塾の受講生における技能検定合格者は着実に増加しており、高い技術力の継承が進められている。しかし、指導者の高齢化が進んでおり、今後の指導者確保が必要な状況になっている。</p> <p>また、小千谷市総合産業会館サンプラザ内における産業展示コーナーを一新し、市内企業の技術力をPRするなど、市内の若者に向けてアピールできるよう、キャリア教育にも取り組んでいる。</p> <p>技能検定合格者数（R3年度:20名、R4年度:10名、R5年度:8名）</p>	<p>高い技術レベルを維持し、技術伝承による人材育成と一層の技術ブランド力の向上と強化を図るため、テクノ小千谷名匠塾への運営支援を続ける。</p> <p>また、産業展示コーナーだけでなく様々な就労事業と連携し、広く市内外の若者たちに対して、市内事業所における技術力の高さをPRする。</p>

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画(Plan)

(1) 基本的事項

シートNo.	03
戦略ページ	P.34

区分	No.	名称
基本目標	1	しごとをつくり、安心して働けるようにする（しごとづくり）
基本方針	2	農業と錦鯉産業の成長産業化
施策項目	1	6次産業化、新規就農支援

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	産業として成り立つ農業を展開するため、新規就農者の確保及び経営体の育成に加え、組織化・法人化を推進するとともに、6次産業化等の農業経営の多角化・複合化を推進する。
事業概要	<p>■6次産業化支援事業 6次産業化を検討する事業者に対して助言等の支援を行う。</p> <p>■地域資源を活かした商品づくり支援 地域資源を活用した新たな商品作り等の取組を支援する。</p> <p>■新規就農者支援事業 新規就農者に対して支援する。</p>

■ 実施(Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	事業費 (千円)	R6年度 (目標値)	担当課
6次産業化に取り組む農業者数 (累計)	2経営体	4経営体	4経営体	4経営体	4経営体	—	6経営体	農林
多様な産業と連携して商品づくりに取り組む農業法人数	-	4経営体	4経営体	4経営体	4経営体	—	2経営体	農林
新規就農者数 (累計)	15人	31人	36人	40人	42人	3,000	45人	農林
農業法人化数 (累計)	13経営体	14経営体	15経営体	15経営体	15経営体	—	20経営体	農林

■ 評価(Check)

【農林課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<p>【6次産業化】 6次産業化について農業団体等へ情報提供を行った。</p> <p>【新規就農支援】 ・関係機関のほか、地域農業者等を含めたサポートチームによる農業指導を実施した。 ・新規就農希望者へ個別相談の実施と情報提供を行った。</p>	<p>職業として農業に魅力を感じる人が増えつつある一方で、実際の新規就農は課題も多い。特に非農家出身者（新規参入者）にとっては「ゼロ」からのスタートとなり、段階的に資金が必要となる。また、経営開始後、農業所得を増やすためには経営規模の拡大や経営の多角化、複合化が求められる。</p>	<p>【6次産業化】 アグリビジネス創出の可能性を秘めた農業団体等が育成されるような支援と国、県等の支援事業の情報提供を継続する。</p> <p>【新規就農支援】 ・関係機関のほか、地域農業者等を含めたサポート体制を継続（充実）し、農業指導を実施する。 ・国、県等の支援事業を情報提供し、事業の活用につなげる。</p>

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画(Plan)

シートNo.	04
戦略ページ	P.34

(1) 基本的事項

区分	No.	名称
基本目標	1	しごとをつくり、安心して働けるようにする(しごとづくり)
基本方針	2	農業と錦鯉産業の成長産業化
施策項目	2	農産物等の付加価値産品開発、販路拡大

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	<ul style="list-style-type: none"> 消費者が求める付加価値を高めた農産品の確立を目指す。 錦鯉産業の海外市場への販路拡大による安定経営を目指す。
事業概要	<p>■アグリビジネス育成支援事業 農業資源を活用したアグリビジネスの育成支援を行う。</p> <p>■農産物販路拡大支援事業 米の海外市場への販路開拓を支援する。</p> <p>■常盤橋プロジェクト(錦鯉を核としたプロモーション事業)【地方創生推進交付金】 市の魚「錦鯉」を世界へ発信するため、東京・常盤橋地区に整備する錦鯉鑑賞池を活用するなど、市と錦鯉漁業協同組合によるPR活動を行う。また、錦鯉の輸出の拡大や新たな輸出国の開拓に向けたECサイトの構築によるプロモーションを行う。</p>

■ 実施(Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標(KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	事業費 (千円)	R6年度 (目標値)	担当課
小千谷産米の海外市場流通量/年	477t	520t	906 t	949t	811t	2,520	700t	農林
錦鯉の海外展示出展数	1か国	0か国	0か国	0か国	0か国	-	1か国	農林
錦鯉の輸出額/年【地方創生推進交付金】	695百万円	643百万円	804百万円	723百万円	1,003百万円	-	800百万円	農林

■ 評価(Check)

【農林課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<p>・国や県、市の施策(交付金、助成金)を最大限活用して非主食用米への転換に取り組んだ結果、輸出用米は前年度に比べて生産数量138t(取組面積25ha)減少した。</p> <p>・G7新潟財務大臣・中央銀行総裁会議の会場となった朱鷺メッセ内において小千谷市産錦鯉の展示を行い、主要各国の要人に国魚錦鯉の魅力を伝えた。</p>	<p>・農家の高齢化や担い手不足といった課題を抱える中で、輸出用米の安定的な生産量(取組農家)を確保していくために、継続した支援や取組に理解と協力を得られる仕組みづくりが必要である。</p> <p>・R5年9月から隣接するTorch Tower(B棟)の新築工事が着工している。完成予定のR9年度末までは工事による影響を踏まえたPR活動を行っていく必要がある。</p>	<p>・主食用米の他作物への転換の必要性はしばらく続く見込みであることから、小千谷地域の農業者が取り組みやすい輸出用米への転換を軸として、支援を継続する(ただし、今後の米の需給動向に注視していく必要がある。)</p> <p>・「小千谷市の錦鯉が泳ぐ池」としてGoogleマップに登録されているため、このような材料を活用するなど効果的な情報発信に取り組む。</p> <p>・常盤橋関連イベントに継続して出展する。</p> <p>・関連団体への働きかけを行い、物販の拡充を図る。</p>

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画(Plan)

シートNo.	05
戦略ページ	P.34

(1) 基本的事項

区分	No.	名称
基本目標	1	しごとをつくり、安心して働けるようにする（しごとづくり）
基本方針	2	農業と錦鯉産業の成長産業化
施策項目	3	スマート農業普及推進

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	農業へのICT等を活用した技術導入により、労働力不足等に対応した省力・精密化を目指す。
事業概要	<p>■スマート農業取組支援</p> <p>農業分野へのICT等を活用した技術導入を支援することで、農業従事者の減少や高齢化に対応できるよう、スマート農業による省力・精密化を図る。</p>

■ 実施(Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	事業費 (千円)	R6年度 (目標値)	担当課
スマート農業による省力・精密化取組件数(累計)	-	3件	19件	22件	24件	1,088	10件	農林

■ 評価(Check)

【農林課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<p>農業者2経営体に対してスマート農業機械（そば乾燥調製設備1式、トラクター1台）の導入支援を行った。</p>	<p>国や県の補助要件を満たすことができない農業者からの相談案件が多い。</p>	<p>引き続き、スマート農業を推進していくとともに、地域の中心農業者の計画（動向）を注視し、国や県の支援策と結び付ける支援を行う。</p>

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画(Plan)

シートNo.	06
戦略ページ	P.35

(1) 基本的事項

区分	No.	名称
基本目標	1	しごとをつくり、安心して働けるようにする（しごとづくり）
基本方針	3	地場産業拡充、企業立地、創業支援の推進
施策項目	1	新技術・新製品開発

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	鉄工、電子、食品加工製造業などの基幹産業において、産学連携による新技術や新製品開発、設備投資による規模拡大を支援し、地域経済と雇用の安定・拡大を推進する。
事業概要	<p>■新技術・新製品開発支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 産学連携コーディネータの配置による技術相談、企業と大学、研究機関、金融機関等のマッチング、ネットワークの構築支援などを行う。 公益財団法人にいがた産業創造機構（NICO）採択事業に対する支援を行う。 企業と大学、研究機関等が連携して行う研究開発・試作品開発に対する支援を行う。

■ 実施(Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標（KPI）	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	事業費 (千円)	R6年度 (目標値)	担当課
新規共同研究事業採択件数（累計）	0件	5件	6件	7件	7件	-	4件	商工

■ 評価(Check)

【商工振興課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
R5年度の新規採択事業：0件	産学共同研究事業についてはR5年度までの累計で、経済産業省「戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）」の採択に対する補助事業に2件、産学連携による市の「ものづくり研究・開発支援事業」に5件採択されている。 R5年度の新規事業採択件数は0件だったが、期間内における累計採択件数は7件となり、R6年度目標値の4件を大きく上回っている。	引き続き、市内企業と学術機関等とのマッチング支援を進め、新技術や新製品開発につながる取組を支援することで、地域の成長発展と基盤強化の推進に努める。

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画(Plan)

シートNo.	07
戦略ページ	P.35

(1) 基本的事項

区分	No.	名称
基本目標	1	しごとをつくり、安心して働けるようにする（しごとづくり）
基本方針	3	地場産業拡充、企業立地、創業支援の推進
施策項目	2	企業立地促進

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	企業からの立地要望に対応できる工場用地を確保し、雇用拡大を図る。
事業概要	<p>■新工業団地造成事業 新たな工業団地の造成、分譲を行う。</p> <p>■企業立地促進事業 固定資産税の課税免除、用地取得費及び雇用促進への補助金交付、本社機能の移転支援ほか、空き工場等の情報提供などを行う。</p>

■ 実施(Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	事業費 (千円)	R6年度 (目標値)	担当課
新規工業用地造成箇所・面積	1か所	0か所	0か所	0か所	0か所	-	2か所以上	商工
	4.17ha	0.0ha	0.0ha	0.0ha	0.0ha	-		商工
工業団地への立地件数 (累計)	-	0件	0件	0件	0件	-	3件	商工

■ 評価(Check)

【商工振興課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<p>【新工業団地造成事業】 造成事業の事業主体の見直しや民間開発を促進するための造成費用等に対する補助事業実施の体制整備を進めた。</p> <p>【企業立地促進事業】 固定資産税課税免除：6件</p>	市内外企業のニーズに沿った工業用地の整備を行うため、整備地区や事業実施主体を慎重に選定する必要がある。	引き続き、企業訪問等によりニーズを把握し、ニーズに沿った整備を実現するために企業立地支援チーム等で検討を進める。また、事業リスクの低減とスピード感のある造成実現には民間活力が有効であるため、民間開発を促進するための施策整備と周知を進める。

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画(Plan)

シートNo.	08
戦略ページ	P.35

(1) 基本的事項

区分	No.	名称
基本目標	1	しごとをつくり、安心して働けるようにする（しごとづくり）
基本方針	3	地場産業拡充、企業立地、創業支援の推進
施策項目	3	新規創業・第二創業

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	新規創業及び他分野進出のための第二創業を支援し、雇用拡大を図る。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ 創業支援事業計画による起業・創業支援 ■ おぢやで開業応援事業 市内創業者に対し、初期投資を支援する。 ■ 空き店舗開業支援 中心市街地商店街の空き店舗を活用して開業する事業者に対し、開業費等を支援する。

■ 実施(Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	事業費 (千円)	R6年度 (目標値)	担当課
創業・第二創業相談件数/年	8件	17件	14件	21件	27件	-	10件	商工
創業、第二創業、開業数(累計)	18件	24件	26件	31件	33件	600	30件	商工
中心市街地商店街の空き店舗を活用した開業数(累計)	8件	10件	12件	12件	14件	1,988	15件	商工

■ 評価(Check)

【商工振興課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<p>【創業セミナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 起業スクール開催: 1回 (参加者7名) ・ 起業セミナー開催: 1回 (参加者12名) <p>【創業支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 創業相談窓口: 常時開設 ・ 認定特定創業支援等事業による証明: 0件 	<p>創業相談件数は27名 (R4年度: 21名)、起業スクールの受講者は7名、出店・開業支援補助事業は4件となった。このうち中心市街地商店街における創業や開業は2件となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 創業相談件数 R3年度: 14件、R4年度: 21件、R5年度: 27件 ・ 中心市街地商店街創業件数 R3年度: 2件、R4年度: 0件、R5年度: 2件 	<p>本町商店街における店舗利活用状況調査結果を活用し、商店街の空き店舗における開業件数増加を図る。</p> <p>また、引き続き、小千谷商工会議所や(一社)新潟県起業支援センター及び新潟県よろず支援拠点と連携し、創業塾など創業や開業に関する相談事業を実施する。</p>

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画(Plan)

シートNo.	09
戦略ページ	P.35

(1) 基本的事項

区分	No.	名称
基本目標	1	しごとをつくり、安心して働けるようにする（しごとづくり）
基本方針	3	地場産業拡充、企業立地、創業支援の推進
施策項目	4	国内・海外販路拡大

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	本市の基幹産業における海外市場への販路拡大を支援し、地域の経済と雇用の安定・拡大を推進する。
事業概要	<p>■海外展示会・見本市出展支援 販路拡大を目的とする展示会、見本市への出展を支援する。</p> <p>■海外事業展開相談会開催 海外に向けた事業展開を目指す事業者向けの相談会を開催する。</p> <p>■国内・海外販路開拓支援事業 新技術・新製品のPR、販路拡大を目的とする展示会・見本市への出展を支援する。</p>

■ 実施(Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	事業費 (千円)	R6年度 (目標値)	担当課
海外展示会・見本市出展支援件数/年	1件	0件	0件	0件	0件	-	3件	商工
展示会见本市での商談件数/年	362件	51件	453件	1,687件	767件	1,695	450件	商工

■ 評価(Check)

【商工振興課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> 国内・海外販路開拓支援事業の申請受付、交付対応 国内・海外販路開拓支援事業の周知（ホームページ、メルマガ） 	<p>国内・海外販路開拓支援事業補助金: 11件（海外0件、国内11件） 商談件数: 767件（海外0件、国内767件） 補助額: 1,695千円（海外0千円、国内1,695千円） 海外展示会への出展に活用する企業はなかった。国内における展示会等の出展に関しては、11件と減少した。 ・国内海外販路開拓支援件数 R3年度: 9件、R4年度: 16件、R5年度: 11件</p>	<ul style="list-style-type: none"> 国や県、JETRO、NICO等において海外展開事業者をサポートする事業があるため、引き続き広報等の情報提供に努める。 市補助金を活用している事業所の固定化について改善するため、商工会議所と連携して展示会等への出展検討事業所に対する更なる補助活用の周知に努める。

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画(Plan)

シートNo.	10
戦略ページ	P.36

(1) 基本的事項

区分	No.	名称
基本目標	1	しごとをつくり、安心して働けるようにする（しごとづくり）
基本方針	4	高齢者・障がい者の活躍できる機会の拡充
施策項目	1	技術力確保と生きがい雇用促進

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	高齢者が生きがいを持ちながら、その経験、技能、知識を産業や地域社会に活かすことができるよう、高齢者の就業機会を拡充する。
事業概要	<p>■ 高齢者の技術力活用 高齢者が社会の担い手として活躍し続けられるよう、シルバー人材センターの充実を図る。</p> <p>■ 新たな手法による就業機会の確保 ふるさと納税によるサービス提供など、新たな手法によって就業機会の確保を目指す。</p>

■ 実施(Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	事業費 (千円)	R6年度 (目標値)	担当課
シルバー人材センター会員数	394人	379人	378人	382人	383人	-	420人	福祉

■ 評価(Check)

【福祉課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<p>・会員数383人（前年度比1人増）、受注件数2,094件（前年度比208件減）、契約金額115,614千円（前年度比6,280千円減）、会員の就業率87.5%（前年度99.7%）となった。</p> <p>・県連合会小千谷事務所が実施する派遣事業については会員数212人（前年度比7人増）、受注件数85件（前年度比5件増）、契約金額58,414千円（前年度比3,756千円増）であった。</p>	<p>・受注件数、契約額共に前年度を下回った。</p> <p>・R4年度まで受注していた新型コロナウイルス感染症の流行にかかる小中学校校舎の除菌作業がR5年度から不要となり、受注減となった。</p> <p>・除雪業務については、期間全体の降雪量は前年を下回り、融雪時期も短かったことから、前年度の実績を下回った。</p> <p>・農作物作業については、猛暑による影響で受注減となった。</p> <p>・職種により経験や技能を持つ会員が少なくなっている。また、定年延長が進むことにより、新規入会者年齢が高齢化し、経験年数不足等が課題となっている。</p> <p>・シルバー事業は景気の動向や自然条件などに影響されやすく、年度ごとに増減がある。</p>	<p>・引き続き、会員の拡大に努める。特に会員数の約35%に伸びている女性会員の増員に注力する。</p> <p>・公共機関や市内企業等に対して受託の継続と拡大を依頼する。</p> <p>・成長分野である福祉や家事援助サービスなど、地域に貢献する分野での就業の底上げを図る。</p> <p>・現場での実践を通じた技能習得や研修会を開催し、技能者の養成に取り組む。</p> <p>・総合事業訪問型サービスAの受託利用を推進する。</p>

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画(Plan)

シートNo.	11
戦略ページ	P.36

(1) 基本的事項

区分	No.	名称
基本目標	1	しごとをつくり、安心して働けるようにする(しごとづくり)
基本方針	4	高齢者・障がい者の活躍できる機会の拡充
施策項目	2	障がい者の就労促進

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	障がい者の雇用機会の拡充、確保を推進し、障がい者の自立と社会参加を促進する。
事業概要	<p>■障がい者の就業訓練拡充</p> <p>職場体験やインターンシップなどにより、障がい者の就業訓練機会を拡充する。</p>

■ 実施(Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	事業費 (千円)	R6年度 (目標値)	担当課
福祉施設から一般就労への移行者数/年	4人	6人	0人	3人	5人	-	5人	福祉

■ 評価(Check)

【福祉課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> R5年度は企業向けの総合支援学校見学会を実施しなかったが、公共職業安定所と連携しながら企業に働きかけを行い、新たに企業2社が実習先となった。 総合支援学校では企業実習を行うなど、卒業後の地域就労の推進に努め、2名の総合支援学校卒業生が企業に就労した。 	<p>新型コロナウイルス感染症の感染が収束し、感染症流行前と同様に企業等において実習を実施できるようになり、就業訓練などの機会を確保することができた。今後も総合支援学校卒業生の希望職種等を踏まえながら、実習先企業の確保に努める必要がある。また、企業に対して障がい者雇用の理解と推進を図る必要がある。</p>	<p>障害者雇用の推進にあたり、総合支援学校や公共職業安定所、商工会議所などの関係機関と連携した企業への情報発信等により障がい者雇用の理解と推進を図り、実習先の確保に努める。</p>

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画(Plan)

シートNo.	12
戦略ページ	P.38

(1) 基本的事項

区分	No.	名称
基本目標	2	新しいひとの流れをつくる（ひとの流れ）
基本方針	1	若年層の交流・転入促進
施策項目	1	U・Iターンの推進

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	本市の強みである基幹産業を中心に企業の情報発信を強化し、若者のU・Iターンを考える機会を増やすことにより、U・Iターンの増加につなげる。
事業概要	<p>■Uターン就職支援事業【デジタル田園都市国家構想交付金】 Uターン就職を希望する大学生・専門学生などを対象とした就職セミナーや企業見学ツアーの開催、インターンシップの受入などの支援を行う。</p>

■ 実施(Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	事業費 (千円)	R6年度 (目標値)	担当課
15～34歳の転入者数/年【県人口移動調査(前年10～9月)】	412人	340人	374人	442人	391人	-	420人	商工
就労情報希望者数/年	195人	187人	361人	373人	0人	-	750人	商工
就労ガイダンス等の開催回数/年	5回	8回	4回	5回	3回	845	5回	商工
企業見学交流バスツアーの実施回数/年	1回	2回	2回	2回	3回	1,164	2回	商工

■ 評価(Check)

【商工振興課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<p>【就職情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業ガイドブック配布 就職支援サイトリニューアル 就職支援SNSアカウント運営(インスタグラム)、開設(Youtube、Ti kTok) <p>【企業見学交流バスツアー】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新潟工科大学 長岡工業高等専門学校 小千谷西高等学校 	<ul style="list-style-type: none"> 就労イベント等は、幅広いイベントを開催することで若者への就労サポートや企業の採用サポートを実施した。 インターンシップ支援実績 R3年度:31件、R4年度:34件、R5年度:78件 	<p>引き続き、高等教育機関等への進学で市外に転出した大学生や専門学校生等に対して地元企業でのインターンシップ仲介や就労情報の発信及び各種就労セミナーの開催などのUターン就職支援事業を進める。</p> <p>なお、重要業績評価指標(KPI)の「就労情報希望者数/年」は、R4年度をもって実績評価基準である就労アプリの運用を終了したため、R6年度、新たなKPIを検討する。</p>

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画(Plan)

シートNo.	13
戦略ページ	P.38

(1) 基本的事項

区分	No.	名称
基本目標	2	新しいひとの流れをつくる（ひとの流れ）
基本方針	1	若年層の交流・転入推進
施策項目	2	若い世代の定住促進

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	移住・定住に対する経済的支援環境を整備し、移住者・定住者を増加させる。
事業概要	<p>■転入者住宅取得補助 市内に住宅を取得する個人に対し、費用の一部を補助する。</p> <p>■子育て世代住宅取得促進 市内に住宅を取得する50歳未満の者又は18歳未満の子がいる者に対し、取得費用の一部を補助する。</p>

■ 実施(Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	事業費 (千円)	R6年度 (目標値)	担当課
転入者住宅取得補助利用件数/年	22件	23件	19件	19件	30件	18,900	25件	建設
子育て世代の住宅取得補助利用件数/年	44件	78件	70件	96件	83件	42,189	60件	建設

■ 評価(Check)

【建設課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
補助金申請件数: 88件 ・転入者30件（うち子育て世代26件） ・子育て世代83件	転入者申請者数は目標値を超えた。	対象者へ確実に情報が届くよう、広報紙やホームページ、SNS等を活用して制度の周知徹底を図る。中古住宅購入検討者への周知を強化する。
【企画政策課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
・重点政策プロジェクト・チーム「O・J・Y」を組織し、人口減少など当市の重点課題の解決に向けて調査研究を行った。 ・チームOでは、U・Iターン者増加と女性活躍サポートによる生産年齢人口（特に20代～40代）の確保を目指し、市内就業者へのアンケート調査や子育て支援のさらなる拡充など、人口減少対策の検討に取り組んだ。	アンケート調査の結果、市内企業の就業者には市外からの通勤者が多いことや、経済的負担への不安があることがわかったことから、他市と比較して子育て世代の負担軽減となる施策の検討が必要。	引き続き関係課と協力し、子育て世代などの移住を促進するため、住宅費や生活費に係る負担軽減を図る制度の検討及び設計を行う。

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画(Plan)

シートNo.	14
戦略ページ	P.38

(1) 基本的事項

区分	No.	名称
基本目標	2	新しいひとの流れをつくる（ひとの流れ）
基本方針	1	若年層の交流・転入推進
施策項目	3	若者交流の推進

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時相互援助協定締結自治体との交流を活かして、観光・文化・教育体験など多様な分野のツーリズムを推進し、交流人口の増加を目指す。 ・大学などの合宿誘致による新たな交流を構築し、小千谷の認知度を高めて交流から始まるＩターンを推進する。
事業概要	<p>■ゼミ・サークル合宿誘致・交流事業 「おぢゃ〜る」に大学などのゼミ・サークル合宿を誘致し、新たな交流事業を展開する。</p> <p>■教育体験旅行 首都圏などの中学生を農家等の個人家庭が受け入れ、民泊しながら農業体験や農村生活体験などを行う。</p>

■ 実施(Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	事業費 (千円)	R6年度 (目標値)	担当課
市民の家等合宿利用団体数 (市外) /年	7団体	1団体	1団体	1団体	5団体	-	10団体	にぎわい
教育体験受入家庭登録世帯数	64世帯	74世帯	70世帯	70世帯	0世帯	-	70世帯	にぎわい

■ 評価(Check)

【にぎわい交流課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
合宿等誘致を行い、利用促進を図った。	<ul style="list-style-type: none"> ・合宿利用団体数は回復傾向にあり、一定の営業成果を得ている。 ・宿泊を伴う教育体験旅行について、受入家庭の減少により事業実施が困難になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・営業強化による合宿誘致を行い、利用団体数の増加に努める。 ・日帰りで教育体験を実施するなどの対応を検討していく。

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画(Plan)

シートNo.	15
戦略ページ	P.39

(1) 基本的事項

区分	No.	名称
基本目標	2	新しいひとの流れをつくる（ひとの流れ）
基本方針	2	移住・定住支援
施策項目	1	小千谷の暮らし情報発信

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	増加傾向にある空き家を有効活用し、小千谷暮らしを実現するための情報提供・発信体制を整備する。
事業概要	<p>■小千谷移住PR事業 移住ポータルサイトの運営などによる小千谷暮らしの情報発信を実施する。</p> <p>■空き家情報ネットワーク構築 利用可能な空き家の調査、所有者への登録勧奨を行い、「空き家情報バンク」による空き家の流通を促進する。</p>

■ 実施(Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	事業費 (千円)	R6年度 (目標値)	担当課
移住ポータルサイトアクセス件数/月	228件	320件	2,038件	2,182件	1,190件	-	2,500件	商工
空き家バンク登録件数(累計)	23件	32件	42件	55件	72件	-	50件	商工

■ 評価(Check)

【商工振興課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
市ホームページを随時更新した (移住ポータルサイトはR3年度から市ホームページへ統合)。	ニーズやターゲットに即した情報を発信することや更新頻度及び情報発信件数の少なさが課題である。	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズに即した内容となるように関連事業との連携を図る。 ・SNSの更新頻度向上を図る。

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画(Plan)

シートNo.	16
戦略ページ	P.39

(1) 基本的事項

区分	No.	名称
基本目標	2	新しいひとの流れをつくる（ひとの流れ）
基本方針	2	移住・定住支援
施策項目	2	交流・お試し移住推進

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	様々な形での交流やお試し移住体験の受入体制を確保することで定住促進を図る。
事業概要	<p>■おぢやクラインガルテンふれあいの里利用推進事業 おぢやクラインガルテンふれあいの里を活用した二地域居住（お試し移住）の体験機会を提供する。</p> <p>■お試し移住促進セミナー開催事業 移住相談セミナーの開催や相談窓口への情報提供により、幅広い田舎暮らしへのニーズに対応する。</p>

■ 実施(Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	事業費 (千円)	R6年度 (目標値)	担当課
ラウベ入居者が移住について検討している割合	20%	23%	10%	16%	14%	-	50%	にぎわい

■ 評価(Check)

【にぎわい交流課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
利用者や管理組合、日帰り農園の参加者を巻き込む交流イベントを複数回開催した。	利用者はラウベ暮らしを楽しんでいるが、市内移住の意向を持つ利用者は少ない。ラウベと同程度の住宅が市内では少ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始から早期に市内移住を考えられるように、利用者に働きかける。 ・特に利用最終年度の利用者には空き家バンクなどの情報提供を行う。 ・短期利用を試行し、通年利用希望者の増加に向けて取り組む。

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画(Plan)

シートNo.	17
戦略ページ	P.39

(1) 基本的事項

区分	No.	名称
基本目標	2	新しいひとの流れをつくる（ひとの流れ）
基本方針	2	移住・定住支援
施策項目	3	移住・定住支援

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	地域おこし協力隊の活用による地域活性化とともに、連携による定住を促進するなど、移住者の受け入れ態勢を確保する。
事業概要	<p>■地域おこし協力隊推進事業 地域と連携し、住居の提供や世話役の配置など、地域おこし協力隊の受け入れ環境の整備を行い、定住促進と地域活性化に向けて協力隊を活用する。</p> <p>■小千谷移住推進事業 関係機関と連携し、首都圏などで移住セミナー・相談会を開催する。</p>

■ 実施(Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	事業費 (千円)	R6年度 (目標値)	担当課
地域おこし協力隊員配置/年	8人	8人	7人	5人	6人	26,117	9人	にぎわい
市内への転入者数(転勤、施設入所等を除く)/年	360人	307人	322人	217人	160人	-	380人	商工

■ 評価(Check)

【にぎわい交流課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度を進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> 定期的な情報交換を行い、隊員と受入団体の良好な関係づくりに努めた。 首都圏での地域おこし協力隊募集フェア等に参加した。 	支援員の配置と受入団体との連携により協力隊員の受入環境を整備し、定住促進を図っていく必要がある。	引き続き、定期的な情報交換を行うとともに、隊員が相談しやすい関係づくりと定住につながる支援を行う。
【商工振興課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度を進め方 (取組・改善策等)
各種移住セミナー等に参加し、支援策等の周知に努めた。	アンケート回答数により転入者数を確認しており、実際の人数と乖離している可能性がある。	アンケート回収率の向上に向け、実施方法の改善に取り組む。

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画(Plan)

シートNo.	18
戦略ページ	P.39

(1) 基本的事項

区分	No.	名称
基本目標	2	新しいひとの流れをつくる（ひとの流れ）
基本方針	3	地域資源（特産品、史跡、風景、文化）の活用及び連携
施策項目	1	小千谷ブランドの形成

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	地域住民とともに地域資源をブランド化し、アピールすることによって、地域に誇りを持てる環境づくりを推進するとともに、新たな経済活動の拡充による雇用を創出する。
事業概要	<p>■小千谷ブランディング事業（にぎわい交流課） 地域住民が地域資源を活用し、地域の魅力を高める事業に対して補助を行う。</p> <p>■市の魚錦鯉世界アピール発信事業（農林課） 国や県と連携し、錦鯉の販路拡大につながるPRを実施する。また、長岡市と連携し、『長岡・小千谷「錦鯉発祥の地」活性推進協議会』において国内外へ発信する。</p> <p>■世界農業遺産（GIAHS）認定活動事業（農林課） 世界農業遺産（GIAHS）認定に向け、国内外を問わず錦鯉のPR活動を実施する。</p> <p>■常盤橋プロジェクト【地方創生推進交付金】（農林課） 東京・常盤橋地区に官民連携で整備する錦鯉鑑賞池を核として錦鯉のみならず地域の魅力や特産品などを国内外に発信する。</p>

■ 実施(Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標（KPI）	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	事業費 (千円)	R6年度 (目標値)	担当課
地域資源発見・活用事業実施	-	1件	0件	0件	2件	299	事業実施	にぎわい
錦鯉の海外展示出展数（再掲）	1か国	-	0か国	0か国	0か国	-	1か国	農林
錦鯉世界農業遺産（GIAHS）への認定	-	-	-	-	-	-	認定	農林
錦鯉PR拠点数	1か所	1か所	2か所	2か所	2か所	-	2か所	農林

■ 評価(Check)

【にぎわい交流課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
新型コロナウイルス感染症の感染が収束したことに伴って地域活動が再開し、市民協働支援事業補助金の活用が2件あった。	市民、行政ともに市民協働の意識をもちながら事業に取り組む必要がある。	市民協働支援事業補助金の要件を緩和し、市民による自主的な活動の支援を促進する。
【農林課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、海外展示は見送りとなった。国内ではG7新潟財務大臣・中央銀行総裁会議の会場や新潟東港に寄港したクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」において錦鯉の水槽展示を行ったほか、錦鯉品評会や常盤橋錦鯉鑑賞池におけるイベントにおいてPR活動を行った。	錦鯉に対する海外需要が高まっており、関係団体との連携やこれまでのつながりとの情報共有により効果的にPR活動を行う必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外を問わずPR活動を行う機会があれば、実施の検討をする。 ・可能な範囲で錦鯉の展示や放流を行う。 ・SNSを活用した情報発信を行う。

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画(Plan)

シートNo.	19
戦略ページ	P.39

(1) 基本的事項

区分	No.	名称
基本目標	2	新しいひとの流れをつくる（ひとの流れ）
基本方針	3	地域資源（特産品、史跡、風景、文化）の活用及び連携
施策項目	2	観光拠点づくりと外国人の観光誘客

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 錦鯉、小千谷縮などの世界に誇れる地域資源を活用し、2020東京オリンピック・パラリンピックを契機として、国内外からの観光誘客の増強を目指す。 ・ 通年的に訪れ、楽しむことのできる観光拠点や観光ルート整備を行い、物語性や経済的価値を高めた観光基盤の確立を目指す。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国内・海外プロモーション事業 国内外において、旅行業者を中心とした誘客プロモーション活動を実施する。 ■ 外国人観光客受入体制整備・拡充支援事業 外国人観光客を念頭においた観光PRや、観光パンフレット・ホームページの充実、旅行商品の開発・販売促進を行う。 ■ 観光拠点・ルート整備事業 当市の地域資源（錦鯉、牛の角突き、小千谷縮、花火、へぎそば等）、史跡、風景、文化など、多様なニーズに応じた観光ルートを整備（ユニバーサル対応）する。

■ 実施(Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	事業費 (千円)	R6年度 (目標値)	担当課
旅行業者取扱件数/年	724件	70件	39件	289件	382件	—	800件	にぎわい
新規観光周遊コース設定数	4コース	4コース	9コース	9コース	9コース	9,628	6コース	にぎわい

■ 評価(Check)

【にぎわい交流課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「需要喚起・消費拡大プロジェクト」応援事業（県補助金）と、「インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業」（観光庁補助金）によるツアーを新規で実施した。 ・ 錦鯉のセリ市を初めて公開し、新たな誘客につなげた。 	<p>インバウンドが回復した大規模観光地からの誘致や集客が必要であり、新型コロナウイルス感染症の流行で影響を受けた受入体制の再構築が急務である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受入体制や受入組織を再構築し、スピード感を持った観光客受入組織の育成を進める。また、民間活力の活用を検討する。 ・ 観光関係団体の指導育成の一環として、観光協会の体制強化の支援を行う。 ・ 観光庁や県の補助事業を活用したモニターツアーを実施し、誘客促進を図る。

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画(Plan)

シートNo.	20
戦略ページ	P.39

(1) 基本的事項

区分	No.	名称
基本目標	2	新しいひとの流れをつくる（ひとの流れ）
基本方針	3	地域資源（特産品、史跡、風景、文化）の活用及び連携
施策項目	3	交流・協働ネットワークの形成

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	地域活動を担う個人や団体と行政をつなぐ中間支援組織の活動を支援し、団体間のネットワーク化などにより、市民協働を推進する。
事業概要	<p>■市民協働意識醸成 多様な広報媒体による市民協働の意識啓発による意識醸成活動を行う。</p> <p>■NPO法人設立支援事業 NPO法人設立に関する相談及び設立支援を行う。</p>

■ 実施(Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	事業費 (千円)	R6年度 (目標値)	担当課
市民協働センターを含む市民団体等による連携事業数	3事業	1事業	0事業	0事業	0事業	-	10事業	にぎわい

■ 評価(Check)

【にぎわい交流課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
市民協働支援補助金による活動支援を行った。	社会課題に対する市民活動は盛んに行われているが、それらを取りまとめる中間支援組織が存在していない現状がある。	市民協働支援事業補助金の要件を緩和し、市民による自主的な活動の支援を促進する。

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画(Plan)

(1) 基本的事項

シートNo.	21
戦略ページ	P.41

区分	No.	名称
基本目標	2	新しいひとの流れをつくる（ひとの流れ）
基本方針	4	関係人口の創出・拡大による地域情報発信と交流促進
施策項目	1	関係人口の創出・拡大

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	本市出身者やおぢやファンクラブ会員、ふるさと納税寄附者など、様々な形で本市に関心を持つ関係人口の拡大により新しいつながりとひとの流れを創り出す。
事業概要	<p>■おぢやファンクラブ等による関係人口の拡充（商工振興課）</p> <p>■ふるさと納税リピーターの拡充（企画政策課）</p> <p>本市出身者やおぢやファンクラブ登録者、ふるさと納税者などを関係人口として位置付け、地域の魅力や観光、製品の情報を全国に発信する。</p>

■ 実施(Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	事業費 (千円)	R6年度 (目標値)	担当課
おぢやファンクラブ登録者数（累計）	14,350人	15,095人	15,523人	15,798人	16,393人	-	16,100人	商工
ふるさと納税者数/年	11,106人	13,440人	13,607人	14,655人	16,485人	609,430	15,000人	企画
ふるさと納税により複数回寄附した人数（累計）	3,300人	6,321人	8,408人	10,687人	13,010人	-	4,300人	企画

■ 評価(Check)

【商工振興課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
ブラッシュアップ相談会（年2回開催）における「おぢやファンクラブ推奨品」への周知	<p>・登録者数はR4年度と比較して595人増加し、基準年度から連続して増加している。 （R5年度: 16,393人、R4年度: 15,798人、R3年度: 15,523人）</p> <p>・売り上げについてはR3年度から連続して減少となった。 （R5年度: 17,445千円、R4年度: 18,680千円、R3年度: 19,310千円）</p>	引き続き、販路拡大業務委託（販路開拓）を首都圏エリアだけでなく他エリアでも行い、広く知名度の上昇や会員登録者数の増加を図る。また、魅力ある商品づくりに対する補助事業等（ブラッシュアップ相談会、地場産品開発支援事業）を行い、ファンクラブ推奨品に一層のプレミアム感を持たせ、商品のマンネリ化を改善する。
【企画政策課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
R4年度に実施したタスクフォースやマーケティング調査の結果を基に、魚沼産コシヒカリのブランディング強化施策の検討や返礼品ページ改修、広告運用等を実施した。	件数、納税額ともに過去最高となり、小千谷産品のPRと販路拡大につなげることができた。一方で、目標としていた6.5億円には至らなかったため、さらなる情報発信方法等の見直しが必要である。	魚沼産コシヒカリ等小千谷産品のブランディング強化や新規返礼品の開拓、情報発信方法の改善を実施する。

※タスクフォース... 緊急性の高い課題を解決するため、一時的に編成される組織、チーム。

※マーケティング調査... 効果的な施策が実施できるように市場、消費者等のデータを収集・分析するもの。

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画(Plan)

シートNo.	22
戦略ページ	P.41

(1) 基本的事項

区分	No.	名称
基本目標	2	新しいひとの流れをつくる（ひとの流れ）
基本方針	4	関係人口の創出・拡大による地域情報発信と交流促進
施策項目	2	本市出身者や交流自治体等在住者との交流促進

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	市内出身で進学や就職などにより市内を離れている方に対するアプローチを用意し、本市との継続した関わりを持てる機会を創出する。
事業概要	<p>■大学ゼミ・サークル合宿等誘致・交流事業（再掲） 「おちゃ〜る」に大学などのゼミ・サークル合宿を誘致し、新たな交流事業を展開する。</p> <p>■就労支援情報、地域情報発信事業 Uターン就職を希望する大学生・専門学生などを対象に、各世代に適した就労支援情報を発信し、地元へのUターン就職へつなげる。</p> <p>■本市出身者等との交流事業運営支援 本市出身者とおぢやファンクラブ登録者やふるさと納税者など本市とつながりのある人・団体を関係人口として組織化し、新たな交流の仕組みづくりを行う。</p>

■ 実施(Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	事業費 (千円)	R6年度 (目標値)	担当課
市民の家等合宿利用団体数（市外）/年（再掲）	7団体	1団体	1団体	1団体	5団体	-	10団体	にぎわい
就労支援情報等を利用する本市出身者数（累計）	-	187人	361人	373人	0人	-	2,000人	商工
市民と市外在住者との新たな交流会実施回数/年	-	0回	0回	0回	0回	-	10回	にぎわい

■ 評価(Check)

【企画政策課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
-	-	-
【にぎわい交流課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
合宿等誘致を行い、利用促進を図った。	合宿利用団体数は回復傾向にあり、一定の営業成果を得ている。	営業強化による合宿誘致を行い、利用団体数の増加に努める。
【商工振興課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<p>【就職情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業ガイドブック配布 就職支援サイトリニューアル 就職支援SNSアカウント運営（インスタグラム）、開設（YouTube、Ti kTok） 	二十歳を祝う会出席者における地元就労支援情報の希望者数は、R5年度は69名（二十歳を祝う会出席者数240名）となり、R4年度64名（成人式出席者数264名）と比較して微増した。	<p>高等教育機関等への進学で市外に転出した大学生、専門学校生等に対して「おぢやつつみ WITH WISH.」などを通じた就労情報の発信に努める。</p> <p>なお、重要業績評価指標（KPI）の「就労支援情報等を利用する本市出身者数（累計）」は、R4年度をもって実績評価基準である就労アプリの運用を終了したため、R6年度、新たなKPIを検討する。</p>

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画(Plan)

シートNo.	23
戦略ページ	P.42

(1) 基本的事項

区分	No.	名称
基本目標	3	結婚・出産・子育ての希望をかなえる（結婚・出産・子育て）
基本方針	1	未婚化・晩婚化対策
施策項目	1	婚活事業の推進

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	<ul style="list-style-type: none"> 本人の意思を最大限に尊重しながら、気軽に参加できる交流や出会いの場を提供し、結婚への展開に結びつける。 結婚や出産に関するセミナーを開催し、結婚に対するイメージアップを図る。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ときめきめぐりあい推進事業（文化スポーツ課） 1対1のお見合いや婚活イベントを実施し、結婚希望者に出会いの場を提供する。 ■地域少子化対策強化事業（健康・子育て応援課） 結婚～妊娠～出産～育児など、結婚から子育てまでのライフステージにおけるセミナー・個別相談会の開催や、情報提供を行う。

■ 実施(Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	事業費 (千円)	R6年度 (目標値)	担当課
婚活支援事業による成婚数（累計）	40組	50組	55組	57組	60組	9,081	76組	文化
セミナー等の参加者の結婚や出産等に対するプラスイメージを持つ割合	96.6%	78.9%	82.4%	83.1%	77.7%	-	100.0%	健康

■ 評価(Check)

【健康・子育て応援課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> 中学生と赤ちゃんとのふれあい交流会は希望のあった中学校4校で延べ6回実施した。各種感染症対策を行った上で赤ちゃん連れの親子1組が参加し、出産や育児に関する講話を行った。 妊娠や出産、思春期の心身の健康に関する助産師の講話や赤ちゃん人形の抱っこ体験、妊婦ジャケット着用体験を実施した。 子育て中の親の体験談や助産師による講話を通して、妊娠や出産、子育てについて学ぶ機会となった。赤ちゃんがかわいいという感想が生徒から多く挙がった。 	<p>子育ては大変だというイメージから、結婚や子育てにプラスイメージを持つ人の割合が減少している。</p>	<p>将来の多様な選択肢があるなかで、赤ちゃんをかわいいと感じ、結婚や出産等にプラスイメージを持てるように、妊娠や出産に関する正しい知識や子に対する親の愛情、育児について学び、将来「親」になることを具体的に考える機会とする。引き続き、各種感染症対策を行いながら交流会や講話会等を実施する。</p>

【文化スポーツ課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・3組のカップルが新たに成婚した。 ・当市同様に結婚支援センターを有する十日町市と①マッチング②イベント③情報発信について広域連携を開始した。 ・イベントやマッチングを数多く行い、次年度へのアプローチを図った。 ・県の結婚子育てポータルサイトや各種SNSに事業やイベントの情報を掲載し、周知に努めた。 <p>【R5年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女イベント5回 ・女子会・男性セミナー計7回 ・マッチング54回(うち十日町市との広域連携によるマッチング23回) <p>【R4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女イベント6回 ・女子会・男性セミナー計8回 ・マッチング40回 	<ul style="list-style-type: none"> ・十日町市との広域連携によりマッチング数が増え、新たな出会いの機会が創出できている。 ・出会いの機会を増やすためにも各所へ更にPRを行い、会員数を増加させる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会員やイベント参加者の声を踏まえて業務の見直しを進める。 ・サポートセンターを設置している自治体間同士の情報交換や連携を積極的に図る。 ・センター職員による会員に寄り添ったきめ細やかなサポートを続け、信頼関係の構築に努める。会員の個々のニーズや要望をより深く理解することで、効果的なサポートや提案ができ、個別のケースに適したマッチングが実現する。

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画(Plan)

シートNo.	24
戦略ページ	P.43

(1) 基本的事項

区分	No.	名称
基本目標	3	結婚・出産・子育ての希望をかなえる(結婚・出産・子育て)
基本方針	2	安心できる出産・子育て環境の充実
施策項目	1	妊娠・出産期の健康支援

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	安心して出産できるよう、妊娠・出産期や小児期の医療体制を継続して確保する。
事業概要	<p>■妊婦健診事業 妊婦が出産まで定期的に検査や保健指導を受けるための妊婦健診を実施する。</p> <p>■妊婦歯科検診事業 妊娠期間中の歯周病の早期受診・早期治療を促すため、妊婦を対象に歯科検診受診券を発行する。</p>

■ 実施(Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	事業費 (千円)	R6年度 (目標値)	担当課
妊産婦・新生児訪問指導の実施率	94.4%	92.8%	95.5%	95.8%	96.8%	1,720	98.0%	健康
妊婦歯科検診受診率	32.6%	54.2%	51.1%	48.1%	45.7%	759	70.0%	健康

■ 評価(Check)

【健康・子育て応援課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> 訪問指導実施率の内訳は妊婦90.5%、産婦100%、新生児100%であった。産婦・新生児訪問指導を実施した母子のうち、約16%に対しては1人あたり2回の訪問指導を実施し、さらに継続支援が必要な場合は保健師等による家庭訪問を行った。 妊婦歯科検診は妊娠届出時と妊婦訪問指導時に受診勧奨をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 訪問指導の実施率は前年度と比べて1.0ポイント上昇した。妊娠期から子育て期まで、妊婦健診14回分と産婦健診2回分の費用助成や訪問指導等により保健指導を受ける機会を提供し、産後うつや育児不安の軽減につながった。 妊婦歯科検診は妊婦検診に比べ後回しになっている状況が見られ、仕事が休みにくいといった理由から受診率が減少している。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、子育て世代包括支援センターを核として妊娠届出時の面談や妊産婦・新生児訪問指導による妊産婦の情報把握や産科医療機関との連携により妊産婦の心身の健康支援の充実に取り組む。 引き続き、妊娠届出時やうぶごえ教室、妊婦訪問など様々な機会において受診勧奨を実施する。

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画(Plan)

シートNo.	25
戦略ページ	P.43

(1) 基本的事項

区分	No.	名称
基本目標	3	結婚・出産・子育ての希望をかなえる（結婚・出産・子育て）
基本方針	2	安心できる出産・子育て環境の充実
施策項目	2	保育環境の充実

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	育児不安の解消や子育て世代の経済的負担を軽減するため、地域で子育てを支援する仕組みづくりを推進し、健やかに生み育てる環境の充実を図る。
事業概要	<p>■子ども・子育て支援事業（健康・子育て応援課） 「小千谷市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、市民に適切なサービスを提供し、子どもの健やかな育ちと子育てを社会全体で支援する環境を整備する。</p> <p>■放課後児童健全育成事業（教育・保育課） 放課後に児童が安全に過ごす場所を確保し、保護者が安心して働ける環境づくりを行うため、学童保育運営団体に対する補助を行う。</p>

■ 実施(Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	事業費 (千円)	R6年度 (目標値)	担当課
保育園受入定員数（3歳未満児の保育拡充）/年	1,105人	1,191人	1,187人	1,187人	1,187人	-	1,105人	教育
病児・病後児保育施設数	-	1か所	1か所	1か所	1か所	15,920	1か所	健康
学童クラブ（通年型）設置数	10団体	10団体	11団体	11団体	11団体	46,575	12団体	教育

■ 評価(Check)

【健康・子育て応援課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
病児病後児保育室を利用してもらうことで、保護者が安心して就労できる環境が整えられた。	病児病後児保育室の利用料を引き下げたことや周知により、利用延人数は142人と前年度より36人増加した。引き下げ前より新規の利用者は増加したが、これに伴いキャンセルも増えたため予約の調整が煩雑になった。	引き続き、広報やホームページ、保育園、認定こども園、わんパーク等での周知を行うとともに、増加するニーズに対応できるよう受入体制を強化する必要がある。
【教育・保育課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
・市立保育園9園の定員846人、私立認定こども園3園の定員341人 ・学童クラブ通年開設11クラブ、長期休業期間のみ開設1クラブ、	・引き続き、3歳未満児の保育ニーズが高まっているが、待機児童は0人である。 ・学童クラブでは定員を超えた申込みがあり、受入体制の整備及び児童の過密対策が課題である。	・入園申込児童の受入体制を整え、子育て環境の充実を図る。 ・受入体制を確保するため、R6年4月から新規で通年開設クラブを1クラブ開設し、和泉小学校学童の長期休業期間における学校利用を行う。引き続き、学童クラブ利用者の環境整備を進める。

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画(Plan)

シートNo.	26
戦略ページ	P.43

(1) 基本的事項

区分	No.	名称
基本目標	3	結婚・出産・子育ての希望をかなえる（結婚・出産・子育て）
基本方針	2	安心できる出産・子育て環境の充実
施策項目	3	子どもの遊び場の整備

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	施設の効率的な活用を検討しながら、冬期間でも子どもたちが安心してのびのびと遊べる場所を確保する。
事業概要	<p>■都市公園の整備（建設課） 利用しやすく魅力のある公園を目指し、公園緑地の適切な維持管理を実施する。</p> <p>■屋内遊び場の整備（にぎわい交流課、健康・子育て応援課、文化スポーツ課） 安心して利用できる全天候型の子どもの遊び場設置について、新規施設や既存施設の効率的な活用を含めて検討する。</p>

■ 実施(Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	事業費 (千円)	R6年度 (目標値)	担当課
都市公園面積	604千㎡	604千㎡	639千㎡	639千㎡	639千㎡	7,478	639千㎡	建設
屋内遊び場の施設数	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	-	2か所	健康・にぎわい文化

■ 評価(Check)

【にぎわい交流課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<p>・「ホントカ。」の「和」アンカーやこどもとしょかんで利用する備品を関係課と連携して選定し、購入した。</p> <p>・市内中学校から地域玩具の寄贈があった。</p>	R6年度秋の「ホントカ。」オープンに向けて、管理運営計画に基づき、安心安全かつ創造的な遊びや学びが行える環境を提供するための運営方法を検討している。	「ホントカ。」完成後も利用状況や利用者のニーズを調査し、施設のアップデートを柔軟に行いながら運営整備を進める。あらゆる世代が集い、創造的活動が行える環境の整備を進める。
【健康・子育て応援課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<p>地域子育て支援拠点「わんパーク」では安心して過ごすことができるよう、各年齢や発達に合わせて空間を分け、遊具や玩具を設置した。館内や遊具、玩具などの消毒をこまめに行い、安心して過ごせる空間を提供した。</p>	<p>地域子育て支援拠点「わんパーク」では、各年齢や発達に合わせた遊具や玩具、絵本を設置している。外遊びスペースは親子遊びで活用し、夏には小型プールを設置している。親子が安心して過ごすことができるよう、発達に合わせて環境を整えていくことが必要である。</p>	<p>引き続き、地域子育て支援拠点「わんパーク」では親子が安心安全に過ごすことができるよう、衛生確保や安全確保を図る。</p>

【建設課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した樹木の剪定 ・トイレ等付属物の維持管理及び修繕 	老朽化した設備や樹木の維持管理、修繕等に多額の費用を要している。また、将来的にトイレのバリアフリー化等の検討が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理修繕 ・トイレのバリアフリー化等の検討
【文化スポーツ課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・年齢に応じた室内での子どもの遊び場を提供している。 ・総合体育館内に、未就学児対象の「幼児プレイルーム」と、小学4年生以下対象の「キッズコーナー」を設置している。 	混雑緩和のために概ねの利用時間を設けながら、楽しく利用している。	安心安全の確保のため、定期的な点検等を実施する。

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画(Plan)

(1) 基本的事項

区 分	No.	名 称
基本目標	3	結婚・出産・子育ての希望をかなえる（結婚・出産・子育て）
基本方針	3	教育環境の充実
施策項目	1	学びの環境づくり

シートNo.	27
戦略ページ	P.43

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	将来を担う子どもたちに対して、地域を知る教育や世界に通じる人材を育成する学びの環境づくりを進める。ICTを活用した教育環境の整備、読書（本にふれる機会）の習慣化や生きた外国語による語学教育を推進し、世界に羽ばたく子どもを育む。
事業概要	<p>■読書や外国語会話の機会拡充（にぎわい交流課、教育・保育課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭での読み聞かせ啓発、保育園や子育て支援センターなどと連携した図書館サービスを実施する。 ・実用的英会話能力の向上や国際理解教育の推進を図るため、外国語指導助手（ALT）を各学校に派遣する。 <p>■教育ICT環境の整備（教育・保育課）</p> <p>児童生徒の情報活用能力を育成するため、学校のコンピュータ機器と教材を充実させるとともに、情報モラル教育を行う。</p>

■ 実施(Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標（KPI）	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	事業費 (千円)	R6年度 (目標値)	担当課
図書館や学校図書室を週2回以上利用する児童生徒の割合	30.8%	28.6%	25.1%	24.3%	24.0%	-	50.0%	にぎわい
留学生との交流事業（小中学校）/年	4校・13回	0回	2回	2回	4校・12回	-	各校1回以上	教育
児童生徒用学習端末の整備率	14.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	100%	教育

■ 評価(Check)

【にぎわい交流課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により、ブックスタート事業の読み聞かせを再開した。 ・「ホントカ。」への移転を準備を行うため、ブックトークをはじめとした読書に親しむための取組を縮小して行った（R4年度:3校→R5年度:2校実施）。 ・市内小学校を対象に学校図書館の状況確認や新施設についての意見交換を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高学年になるにつれて読書をしていない児童生徒が増加する傾向にある。 ・小中学校図書館においてマンパワーや専門知識を持つ人員が不足しており、新着図書の入受等も滞る状態がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ホントカ。」において図書や情報メディア等を融合した環境を整備する。児童生徒が読書に興味を持ち、物事に対して新たな関心をもつ動機づけになるよう、環境づくりを行う。 ・「ホントカ。」と各学校をつなぎ、児童生徒が学び、成長することを後押しするための各支援プログラムを実施する。
【教育・保育課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
交流事業への申込があった（4校12回）。	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染が収束し、交流事業への申込みが増加している。 ・10月に学校への案内を行ったために申込みを断念した学校があった。早い時期に事業案内を配付し、参加者の増加を図る必要がある。 	各校への留学生派遣を検討する。

【企画政策課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度を進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトチームにおいて市内学生の居場所について実態やニーズを探るため、市内の高校1、2年生約700人を対象にアンケート調査を実施した。 JR東日本の協力のもと、JR小千谷駅の待合室にワークスペース（机、椅子6席）を開設した。 	<ul style="list-style-type: none"> R6年9月に西小千谷地区において「ホントカ。」がオープンする予定であり、学生の学習環境及び居場所となりうる施設の整備が進んでいる。 東小千谷地区においてはR5年度に開設したJR小千谷駅のワークスペースの他に学生の居場所となる施設が存在せず、環境の整備が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 東小千谷地区において学生の勉強等のスペースを実証実験として開設する。

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画(Plan)

シートNo.	28
戦略ページ	P.46

(1) 基本的事項

区分	No.	名称
基本目標	4	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域が連携する（まちづくり）
基本方針	1	にぎわいのまちの顔づくりと地域間交流
施策項目	1	都市計画の推進

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	都市計画マスタープランの見直しにより、人口減少社会に合った効率的な施設配置等を推進する。
事業概要	<p>■ 都市計画の推進 上位計画である第五次小千谷市総合計画、小千谷都市計画区域の整備、開発及び保全の方針に即しながら定める。</p>

■ 実施(Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	事業費 (千円)	R6年度 (目標値)	担当課
都市計画マスタープランの見直し	-	-	-	-	-	-	見直し完了	建設

■ 評価(Check)

【建設課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> 都市計画の基礎調査を実施した。 R6年度に予定している都市計画マスタープランの中間見直しに向けて、基礎的情報の収集をR4年度からR5年度にかけて実施した。 	まちづくりの各分野において具体的な計画や事業、施策を確認する必要がある。	これまで収集した基礎情報を基にして、都市計画マスタープランの中間見直しを行う。

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画(Plan)

シートNo.	29
戦略ページ	P.46

(1) 基本的事項

区分	No.	名称
基本目標	4	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域が連携する（まちづくり）
基本方針	1	にぎわいのまちの顔づくりと地域間交流
施策項目	2	中心市街地の整備推進

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	本町地区の総合病院跡地をはじめとする中心市街地について、「西小千谷地区市街地まちづくり基本計画」や「西小千谷市街地地区都市再生整備計画」に基づき、交通利便性を活かした賑わいを創出する。
事業概要	<p>■ 西小千谷市街地地区まちづくり推進事業</p> <p>中心市街地の本町地区に立地し、中核的施設としての役割を担っていた総合病院の跡地利用について、「西小千谷地区市街地まちづくり基本計画」や「西小千谷市街地地区都市再生整備計画」に基づき、官民連携事業として図書館等複合施設の整備を推進する。</p>

■ 実施(Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	事業費 (千円)	R6年度 (目標値)	担当課
都市再生整備計画事業の実施	-	着手	-	実施	実施	1,537,321	事業完了	にぎわい
図書館等複合施設の整備・運営	-	着手	-	実施	実施	651,663	整備完了 運営開始	にぎわい

■ 評価(Check)

【にぎわい交流課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> 都市再生整備計画区域内におけるエリア価値の向上に向けて、市民、民間事業者及び行政による共創の場であるリビングラボを開催しながら図書館等複合施設の整備を進めた。 エリア内の回遊性向上のため西小千谷1号線の整備を行った。 	<p>管理運営計画で定める事業計画（施設プログラム及び市民プロジェクト）を展開するために、多様な主体の参画を促す必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、リビングラボを主な場として施設プログラムや市民プロジェクトを展開していく。 市民の主体的な参画を促し、多様な活動を創出していく。
【建設課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<p>図書館等複合施設の実施設設計が終了し、建設工事に着手した。</p>	<p>図書館等複合施設整備事業では施設オープン後の運営を見据えて、人と人をつなぎ、共創する場としてリビングラボを継続実施しながら、施設整備を進めている。</p>	<p>図書館等複合施設整備事業では引き続き、リビングラボを土台として、官民連携で生まれる様々な可能性を考えて行動し、まちに活気を生み出す拠点づくりを行う。</p>

【企画政策課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトチームにおいて中心市街地周辺の現地踏査を実施した結果、東小千谷地区及び西小千谷地区において空き家や空き店舗が散見された。 ・中心市街地活性化の施策に関して企業や団体、商店街等との意見交換を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・R6年9月の「ホントカ。」オープンに向けて、中心市街地の魅力向上が必要である。 	<p>市内中心市街地において起業創業を考えている若者に対して挑戦の機会を提供するために、チャレンジショップの設置や既存の空き家や空き店舗の利活用について検討を進める。</p>

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画(Plan)

シートNo.	30
戦略ページ	P.46

(1) 基本的事項

区分	No.	名称
基本目標	4	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域が連携する（まちづくり）
基本方針	2	ひとにやさしい交通網の整備
施策項目	1	地域公共交通体系の整備

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	誰にとっても使いやすい生活交通を確保するため、地域の実情に合った効率的な公共交通の見直しを行う。
事業概要	<p>■地域公共交通計画 市民の交通手段である公共交通機関について、利便性の向上、交通弱者の移手段や生活に密着した交通手段を、地域の特性等を考慮する中で効率的かつ効果的に確保するための地域公共交通計画を策定し、目標達成に向けた各種事業を展開する。</p> <p>■地域コミュニティバスの運行 地域住民の公共交通を補うコミュニティバスの運行拡大を検討する。</p> <p>■地域公共交通拠点整備 中山間地域に中心拠点エリアを設け、周辺集落からコミュニティバスなどの移手段で結び、幹線バス路線への乗り換え・乗り継ぎが可能となる拠点の整備を検討する。</p>

■ 実施(Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	事業費 (千円)	R6年度 (目標値)	担当課
第5次公共交通確保計画策定	-	-	-	アンケート実施	計画策定	-	計画策定	にぎわい
地域コミュニティバス運行地区数	1地区	1地区	1地区	1地区	1地区	553	3地区	にぎわい
地域ハブ機能の設置	-	0か所	0か所	0か所	0か所	-	1か所	にぎわい

■ 評価(Check)

【にぎわい交流課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
「小千谷市生活交通確保計画」に代わる法定計画「小千谷市地域公共交通計画」を策定した。	公共交通の利用者は減少し続けており、減便や廃止が続いている。ニーズを踏まえた新たな交通手段の確保に向けて検討が必要である。	地域公共交通計画に沿って各種事業を実施しながら、公共交通利用者の増加に向けた取組を進める。

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画(Plan)

シートNo.	31
戦略ページ	P.47

(1) 基本的事項

区分	No.	名称
基本目標	4	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域が連携する（まちづくり）
基本方針	3	安心の雪国生活支援
施策項目	1	優良宅地供給の推進

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画を推進し、街路や道路交通網の整備による魅力ある居住空間と商業地を創出する。 低廉で優良な宅地供給を行い、定住を促進する。
事業概要	<p>■優良住宅地の推進 定住促進を図るため、優良宅地の開発整備に対する補助を行う。</p>

■ 実施(Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	事業費 (千円)	R6年度 (目標値)	担当課
優良宅地供給区画数	-	0区画	5区画	28区画	50区画	15,811	15区画	建設

■ 評価(Check)

【建設課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<ul style="list-style-type: none"> 補助金交付決定数: 2件 整備完了区画: 22区画 (うち12区画はR4年度からの繰越事業) 区画数累計: 50区画 (R3年度: 25区画、R4年度: 3区画、R5年度: 22区画) 	<ul style="list-style-type: none"> R4年度に補助金交付要件の緩和と補助対象経費の追加を行ったことにより、小規模開発においても活用可能な補助金となっている。 良好な居住環境の提供が分譲後の売行きにもつながっている。 R6年度も本補助金の活用が見込まれている。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、周知や丁寧な事前相談を行い、補助制度の活用を促す。

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画(Plan)

シートNo.	32
戦略ページ	P.47

(1) 基本的事項

区分	No.	名称
基本目標	4	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域が連携する（まちづくり）
基本方針	3	安心の雪国生活支援
施策項目	2	冬期間交通の確保

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	雪國小千谷で安心して暮らせるよう、消雪パイプの布設替（リフレッシュ）を推進し、冬期間交通を確保する。
事業概要	<p>■消雪パイプリフレッシュ事業 老朽化した消雪パイプの布設替えを行う。</p>

■ 実施(Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	事業費 (千円)	R6年度 (目標値)	担当課
消雪パイプリフレッシュ実施延長	13.6km	15.2km	16.0km	16.6km	17.2km	33,117	17.0km	建設

■ 評価(Check)

【建設課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
鴻巣町裏線の布設替えを620.6m実施した。	<ul style="list-style-type: none"> ・施工後50年以上経過している施設が多く、早急に更新が必要である。 ・消雪パイプの老朽化に対して、事業の実施が追い付いていない。 	R6年度は本町山本線の消雪パイプリフレッシュ事業を実施し、以降は事業計画により優先順位を付けて事業を実施する。

【小千谷市総合戦略】進行管理シート

■ 計画(Plan)

シートNo.	33
戦略ページ	P.47

(1) 基本的事項

区分	No.	名称
基本目標	4	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域が連携する（まちづくり）
基本方針	3	安心の雪国生活支援
施策項目	3	高齢化に適応した屋根雪処理等の推進

(2) 事業目的、事業概要等

事業目的 (目指す姿)	高齢化に適応した克雪住宅の建築や改修への支援、流雪溝投雪口の改良など、高齢者の除雪作業負担を軽減し、高齢者が安心して暮らし続けられるまちづくりを推進する。
事業概要	<p>■克雪すまいづくり支援事業 融雪型、落雪型など、住宅屋根の整備に対する補助を行う。</p> <p>■流雪溝投雪口整備事業 高齢者でも雪の搬入がしやすい観音開き型の流雪溝投雪口を設置する。</p>

■ 実施(Do)

(1) 指標(目標値等)

重要業績評価指標 (KPI)	H30年度 (基準値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	事業費 (千円)	R6年度 (目標値)	担当課
屋根雪処理対応家屋棟数	2,739棟	2,796棟	2,821棟	2,844棟	2,860棟	4,069	3,119棟	建設
高齢者対応型投雪口整備 (累計)	367か所	410か所	420か所	445か所	469	1,983	500か所	建設

■ 評価(Check)

【建設課】		
①R5年度の実施状況 (具体的な取組内容・成果)	②現状分析 (現状・課題等)	③R6年度の進め方 (取組・改善策等)
<p>【屋根雪処理対応家屋棟数】 補助申請件数：16件 (融雪式2件、落雪式11件、耐雪式3件)</p>	<p>暖冬小雪傾向にある昨今、屋根雪処理に対する意識が低下してきている。屋根雪下ろしの危険性について、周知徹底を図る必要がある。</p>	<p>克雪住宅化は家屋の雪下ろし時の危険を回避できることから、今後も引き続き、制度の周知を行うとともに国県費を要求し、事業を推進する。</p>